

## 第4学年 国語科学習指導案

日 時 平成17年10月14日(金) 6校時  
児 童 男11名 女6名 計17名  
指 導 者 柴 田 智 子

- 1 単元名 材料の選び方を考えよう  
教材名 「アップとルーズで伝える」 中谷日出

### 2 単元について

#### (1) 児童観

4月に実施したNRTの学力検査では、国語の「読むこと」は全国正答率が58.6%に対して58.5%と全国比は100であった。傾向として、男女差が大きく、男子が56.0%に対して女子は63.0%の正答率であった。説明文の読み取りにおいては、「中心を押さえて読むこと」を苦手としている。

一学期の説明文「『かむ』こと力」において、段落の中心となる言葉や文をもとに要点をまとめる学習に取り組ませてきた。さらに、接続語や文末表現に着目させるとともに、くり返し使われ、題名とつながりのある言葉を「キーワード」としてとらえる指導を行ってきた。その結果、小さなまとまりである段落ごとの内容を読み取る力は徐々に身に付いてきたものの、段落相互のつながりや段落の構成をつかみ、大きなまとまりごとに文章全体を把握するまでには至っていない。

また、総合的な学習の時間等の調べ学習においても、自分のテーマに沿った資料を精選・選択する力が不足しており、資料をそのまま丸写ししたり、テーマに関係のない資料を選択したりする児童が多い。

そこで、本単元の学習を通して、主体的に相手や目的に応じた表現方法を身に付けようとする態度を育成し、情報活用能力を高めていきたいと考える。

#### (2) 教材観

第3学年及び第4学年の「読むこと」の指導目標は「目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読むことができるようにするとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる」である。また、本教材の中心となる指導事項は、「それぞれの段落が全体の中でどのような役割を果たしているかを考えながら読むこと」「写真と対応した部分に注意して読み取り、アップとルーズのそれぞれの特徴をまとめること」である。

前学年からの系統性に着目すると、3学年の教材「ありの行列」において、段落という概念を学んでいるが、本教材ではさらに段落が全体の中でどのような役割を果たしているかを考えながら読むという学習活動へと発展させている。

多様かつ大量の情報があふれるIT社会といわれて久しいが、子どもたちの情報源は依然としてテレビというメディアが送り出す映像である。テレビの影響力は絶大で、次々に映し出される画面を追う子どもたちには、そこに送り手の意図や目的があるという認識はない。つまり、画面に映し出された情報は、素直にそのまま受け入れてしまうのである。

そこで、今後さらにインターネットへの関心が高まるであろうこの時期にこそ、情報を相対的にとらえ、自らその価値を判断し、取捨選択できる力の育成が必要となる。

本教材「アップとルーズで伝える」では、メディアを通じて私たちが目にする映像や写真が、送り手の目的や意図によって取捨選択されたものであることを、「アップ」と「ルーズ」という基本的な映像の技法を通して考えさせていく。子どもたちにとって身近なスポーツの

一つであるサッカーの試合を題材に、「アップ」と「ルーズ」それぞれを象徴する写真が効果的に使われており、2つの対比的な段落関係をつかむのに適した教材であるといえる。

また、子どもたち自身の情報の収集・選択・発信の実践的な学習の場として、次教材に「四年三組から発信します」が設定されており、単元全体で総合的な情報活用能力を養うことができるように構成されている。

### (3) 指導観

本教材「アップとルーズで伝える」を学習するにあたっては、サッカーに関する本や情報を与え意欲づけを図ると共に、体育等でゲームの雰囲気を実際に体験させたい。また単元全体を通じて個人カルテを活用し、一単位時間毎に個人の定着度をチェックしながら、次時の授業の指導に生かしていきたいと考える。

「つかむ」段階においては、まず反復Aのテストを通して、一学期の説明文「『かむ』ことの力」の既習事項に関連した内容の定着を確かめ、児童一人一人の実態を把握する。そして文章の主題や筆者の考えを読み解いていく手がかりとして題名想起をさせ、学習への期待感をもたせたい。また、学習のゴールとして「ゆけ！安小ニュース探検隊」と題した安渡小学校に関するニュースづくりを提案し、本教材に対する興味・関心を喚起していく。

「ふかめる」段階においては、4枚の写真がどの段落と対応しているのかを確認させ、段落ごとに写真と文章を照らし合わせる活動を取り入れる。そして送り手がアップとルーズのそれぞれの画面によって伝えたいことを、違いを明確にしながら読み取っていく。また、「このように」「でも」「しかし」などの役割を考えさせ、接続語や指示語が段落や文のつながりをつかむ手がかりとなることをとらえさせたい。さらに自己評価においては、毎時間の授業の中で友達の意見のよさを書かせることで、お互いの意見を積極的に聞き合う姿勢を身に付けさせると共に、自分の意見と比較する場としても取り上げていきたい。

「広げる」段階においては、「安小ニュース探検隊」をグループごとに結成し、学校内の出来事に目を向けさせ、情報を収集させる。その際「相手（対象は保護者）の知りたいと思うことは何か」「自分が伝えたいことは何か」という視点に立って、話題を決定させたい。さらに用いる写真や映像をアップにするか、ルーズにするか根拠をもって選択させることで、「アップとルーズで伝える」で学習した意図や目的に合った伝え方を実践に結び付けたい。そして反復Bを通して、本単元における個々の最終的な到達度を確認していくこととする。

## 3 単元目標

- (1) 伝える目的や相手に応じて、情報の選び方や表現方法が異なっていることに気づき、自分が表現していくときに役立てていこうとしている。(国語への関心・意欲・態度)
- (2) 段落相互の関係や、全体における各段落の役割を考えながら読むことができる。(読むこと)
- (3) 写真と対応した部分に注意して読み取り、アップとルーズのそれぞれの特徴をまとめることができる。(読むこと)
- (4) 書こうとする題材に必要な事柄を集め、相手に分かりやすく書くことができる。(書くこと)
- (5) 文相互の関係や段落相互の関係を示す手がかりとしての指示語や接続語の役割を理解することができる。(言語事項)

4 単元の指導と評価規準(19時間扱い)

過程	時	学習活動(指導内容)	評価規準<評価方法>		
		「アップとルーズで伝える」	関心・意欲・態度	読むこと	言語事項
つ か む	1	*反復A 「文章の組み立てをとらえる問題」に取り組む。	・既習事項を生かして問題に取り組もうとしている。 <プリント>	・段落の関係を正しく押さえている。 <プリント>	・文末表現や接続語から段落の役割を理解している。 <プリント>
	2	・題名想起をする。 ・全文を読み感想をもつ。 ・新出漢字の書き方を練習する。 ・難語句の意味を調べる。	・進んで題名から想起することや初発の感想を発表しようとしている。 <発言・観察>	・全文を読んで大まかな内容を押さえている。 <発言・ノート>	・新出漢字を正しく書き、難語句の意味を理解している。 <ノート>
	3 4	・学習のゴールが「安小ニュース」づくりであることを知る。 ・8つの形式段落に分け、問題提示文を見つける。 ・意味段落ごとに学習課題を設定し、学習の見通しをもつ。	・進んで学習の見通しをもとうとしている。 <観察・評価カード>	・内容の大体をつかんで意味段落に分けている。 <発言・ノート>	・「～のでしょう」の文末表現から問題文を見つけている。 <発言・サイドライン・ノート>
ふ か め る	5	・写真と照らし合わせながら、「アップ」と「ルーズ」の意味を読み取り、段落と段落の関係をとらえる。	・写真と文章を対比して読みながら段落相互の関係をとらえようとしている。 <観察・評価カード>	・「アップ」「ルーズ」の意味を中心文をもとに読み取っている。 <発言・サイドライン・ノート>	・「～といえます」に着目して意味をとらえている。 <発言・サイドライン・ノート>
	6 本 時	・写真と照らし合わせながら、「アップ」と「ルーズ」の特徴を読み取り、段落と段落の関係をとらえる。	・写真と文章を対比して読みながら段落相互の関係をとらえようとしている。 <観察・評価カード>	・「アップ」「ルーズ」の特徴や段落相互の関係を押さえて読み取っている。 <発言・サイドライン・ノート>	・「しかし」「でも」「このように」に着目して内容や段落の関係をとらえている。 <発言・サイドライン・ノート>
	7	・まとめの段落を読み、筆者の伝えたいことをとらえる。	・筆者の伝えたいことを進んで読み取ろうとしている。	・目的に応じて「アップ」「ルーズ」が使い分けられ	・指示語や文末表現に気を付けて筆者の伝えたい

			いる。 <観察・評価カード>	ていることを読み取っている。 <発言・ノート>	ことをとらえている。 <発言・ノート>
	8	・各段落に小見出しをつけ、段落構成を図にまとめる。 ・テレビ・新聞・サッカーに関係のある言葉を集める。	・段落構成について進んで図にまとめようとしている。 <観察・評価カード>	・段落相互の関係を理解し、文章全体の構成をつかんでいる。 <発言・ノート>	・テレビ・新聞・サッカーに関係のある言葉を的確に集めている。 <発言・ノート>
広 げ る		「四年三組から発信します」	関心・意欲・態度	書くこと	言語事項
	9	・全文を読み、活動の見通しをもつ。	・「安小ニュース」の作成に関心をもとうとしている。 <発言・観察>		
	10	・グループごとに伝える題材を考える	・グループの話し合いに積極的に参加しようとしている。 <発言・観察>		
	11 12 13 14 15 16 17	・取り上げる題材を決めて取材する。 ・材料を選び、記事を書く。	・友達と協力して意欲的に作業に取り組もうとしている。 <観察・評価カード>	・目的や相手に合わせて写真や材料を選び、分かりやすくまとめている。 <観察・作品>	・効果的な言葉の表現を工夫している。 <観察・作品>
	18	・「ゆけ！安小ニュース探検隊」発表会をする。	・意欲的に発表したり友達の発表を聴いたりしようとしている。 <発言・評価カード>		
	19	*反復B（読イ） 「段落と段落の関係をつかむ問題」に取り組む。	・学習したことを生かして、課題解決に取り組もうとしている。 <プリント>	・文章を読み、正しい段落の関係をつかんでいる。 <プリント>	・説明文を読む時に大切なことについて正しく言葉を選んでいる。 <プリント>

5 本時の指導(6/19)

(1) 授業の構想

アップとルーズについて、写真と文章を照らし合わせたり、特徴をまとめたりする学習を通して違いやよさを明確にし、目的に応じて使い分ける必要性に気づかせる。

(2) 目標(本時のねらい)

写真と文章を対比させながらアップとルーズの違いをまとめ、段落相互の関係をつかむことができる。

一人学び

キーワード

(3) 展開

段階	学 習 活 動	・指導上の留意点( 評価) <評価方法>
見 通 す 3 分	1 前時までの学習を振り返る。 2 本時の学習課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">             アップとルーズでは、どんなちがいが あるのでしょうか。           </div>	・前時の学習をもとに、アップとルーズの意味を確認する。  学習課題がわかったか。 <観察>
ふ か め る          4 0 分	3 第4段落～第6段落を音読する。 ・個人読みをする。 ・指名読みをする。  4 アップとルーズの特徴を読み取る。 (1) 4段落の写真と文章を比較しながら、アップの特徴をまとめる。 <分かること> 細かい部分の様子 <分からないこと> うつされていない多くの部分  (2) 5段落の写真と文章を比較しながら、ルーズの特徴をまとめる。 <分かること> 広いはんいの様子 <分からないこと> 各選手の顔つきや視線・気持ち	・接続語や文末表現に気を付けることを「読みの視点」として与える。  ・写真と対応する文や語句を確認しながら、ゴールを決めた選手の具体的な様子をとらえさせる。 ・「しかし」の役割を考えさせる。 ・文末の「分かります」「分かりません」に着目させる。  ・4段落の写真と比較しながら、応援席の具体的な様子をとらえさせる。 ・該当部分にサイドラインをひく作業をさせてからまとめさせる。 ・まとめられない児童にはアップの段落にもどって、共通点を確認させる。 ・「でも」の役割を確認させる。 写真と文章を対比して読むことができたか。 <発言・サイドライン・ノート>



振り返る 2分	6 自己評価ノートに記入し、発表する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の自己評価と本時を比較させ、次時に生かすものとする。</li> <li>進んで学習に取り組んだか。</li> <li>アップとルーズの違いをまとめられたか。</li> <li>友達の意見のよさを書けたか。</li> </ul> <p style="text-align: right;">&lt; 自己評価カード &gt;</p>
	7 次時の学習内容を知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次時は第7～8段落から筆者が伝えたいことは何かを考えることを知らせる。</li> </ul>

6 板書計画

6 ← 5 ↔ 4

**アップ ルーズ**  
細かい部分 広いはんい

**このように**

アップでは細かい部分の様子がよく伝わり、ルーズでは**広いはんい**の様子がよく伝わるというちがいがあある。

それで

**目的におおじて**

切りかえながら放送

ルーズの 写真	アップの 写真	
広いはんい の様子 選手と おうえんした人たちが 喜んでる様子	細かい部分の 様子 ゴールを決めた選手 が喜んでる様子	分かること
でも 選手の顔つき 視線 気持ち	しかし ゴールを決められた 選手の様子 おうえん席の様子	分からないこと

**アップとルーズで伝える**

アップとルーズでは、どんなちがいがああるのでしよう。

7 自己評価カード

学習をふり返って

名前

一生けん命考えたり、発表したりできましたか。

A            B            C            D

アップとルーズのちがいをまとめられましたか。

A            B            C            D

今日の授業の中でグッときた意見や、今日の学習の感想を書きましょう。

-----

-----

-----

-----

-----



<b>「アップとルーズで伝える」</b>	
言語事項	<p>&lt;キーワード&gt; アップ ルーズ 伝える 大きくうつす 細かい部分 広いはんい 目的におうじて 目的に合う 受け手 送り手 知りたい</p> <p>&lt;指示語&gt; このように このとき それに それら その どちら</p> <p>&lt;接続語&gt; しかし でも それで そして</p> <p>&lt;文末表現 &gt; ~ます。 ~です。 ~といいます。 ~のでしょう。 ~みましょう。 ~ません。 ~のです。</p>
要 点	<p>テレビでサッカーの試合のハーフタイムを放送している画面には、両チームの選手の動きと観客席の様子といった会場全体がうつし出されている。</p> <p>後半が始まる画面にはコート中央に立つきんちょうした顔つきの選手を大きくうつし出した。</p> <p>広いはんいをうつすとり方を「ルーズ」、ある部分を大きくうつすとり方を「アップ」という。 アップとルーズでは、どんなちがいがあろう。</p> <p>アップでとると、細かい部分の様子がよく分かるが、うつされていない多くの部分のことは分からない。</p> <p>ルーズでとると、広いはんいの様子がよく分かるが、選手の顔つきや視線、気持ちまでは、なかなか伝わらない。</p> <p>アップとルーズには、それぞれ伝えられることと伝えられないことがあり、目的に応じて切りかえながら放送をしている。</p> <p>写真にも、アップとルーズがあり、目的にいちばん合うものを選んで使うようにしている。</p> <p>テレビでも新聞でも、受け手の知りたいことや送り手が伝えたいことを考えて、アップかルーズかを決めたり、選んだりしている。</p>
文章構成	<p>説明 1 説明 1 を受けての問いかけ 説明 2 まとめ</p>
筆者の思い	<p>テレビでも新聞でも、伝える相手や目的に応じてアップとルーズを使い分け、情報の選び方や表現方法を工夫している。</p>
発 展	<p>伝えるための材料（情報）を選び、「アップ」か「ルーズ」で撮った映像を生かしながら、「ゆけ！安小ニュース探検隊」発表会をする。</p>

9 個人カルテ

# 「アップとルーズで伝える」 個人カルテ

名前

## 子ども像

アップとルーズの違いを読みとりながら、対比やまとめなど段落相互の関係をつかむ。

実 態	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報への関心</li> <li>・文章の読み取り</li> <li>・音読（正確にはっきりと読める）</li> <li>・漢字を書く力</li> <li>・文字を書くスピード</li> <li>・作文</li> <li>・集中力</li> </ul>		
初 発 の 感 想			
学 習 の 実 態	単元の評価規準表による 「読むこと」にそった評価	評 価	その他
	今までの学習が身に付いている。（反復A）	A    B    C	
	叙述に即した初発の感想をもっている。	A    B    C	
	問題提示文が分かる。	A    B    C	
	意味段落に分けることができる。	A    B    C	
	「アップ」と「ルーズ」の意味を読み取っている。	A    B    C	
	「アップ」と「ルーズ」の特徴を読み取っている。	A    B    C	
	筆者の伝えたいことを読み取っている。	A    B    C	
段落構成を図にまとめることができる。	A    B    C		
単 元 終 了	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「アップとルーズで伝える」単元テスト</li> <li>・読みの確かめ（反復B）</li> <li>・「安小ニュース」づくりで学習したことを生かしている。</li> </ul>		点 点 C